
活動目標

《7》高齢者の外出支援

〈住民の声〉

(1) 買い物のための支援

- ①行商が来るが、週に1～2回。近くに商店、スーパーがないため不便である。
- ②巡回バス等がないため、タクシー等を利用しているが料金が高い。
タクシー等の割引券を発行してほしい。

(2) 通院のための支援

- ③病気や怪我の時、家から乗れる交通機関がほしい。
- ④交通の便が悪く、また家族が居ても働いているので思うように病院へ行けない。

(3) 行事等へ参加のための支援

- ⑤市役所等の催しに行きたいが、交通の便が悪いため行けない。
- ⑥会場が遠いため参加できない。

(4) 新しい仕組みづくり

- ⑦運転ボランティア等ができないか。

■ 取り組み方法

高齢者世帯では、普段の生活に必要な食料品・日用品の買い物、近隣の病院への通院、市等が行う行事や研修への参加が容易にできないため、地域公共交通・民間交通情報を提供し、利用推進が図られるように支援を行います。

また、小地域に対応できる新たな交通手段を研究します。

〈取り組みの内容〉

(1) 買い物のための支援

- ① 地域公共交通を利用した買い物の推進と商工会等の送迎に関する情報を提供する。
- ② 地域公共交通が利用できない地域の民間交通を利用した買い物を支援する。

(2) 通院のための支援

- ③ 自宅から利用できる通院の取組みを支援する。
- ④ 通院可能な地域公共交通の情報提供と利用を推進する。

(3) 行事等へ参加のための支援

- ⑤ 市等の行事開催に利用できる交通手段の情報を提供する。
- ⑥ 地域開催ができる会場の提供および出前講座の利用を推進する。

(4) 新しい仕組みづくり

- ⑦ 地域で取り組める新たな交通手段を研究する。

